

# フランス鉄道の旅

写真集 1

2010 8月24日(火)～9月10日(金)

両替、¥112/€





## シャルル・ド・ゴール空港





## RER B線

イル=ド=フランス地域圏急行鉄道網（イル=ド=フランスちいきんきゅうこうてつどうもう、フランス語: Réseau Express Régional d'Île-de-France）

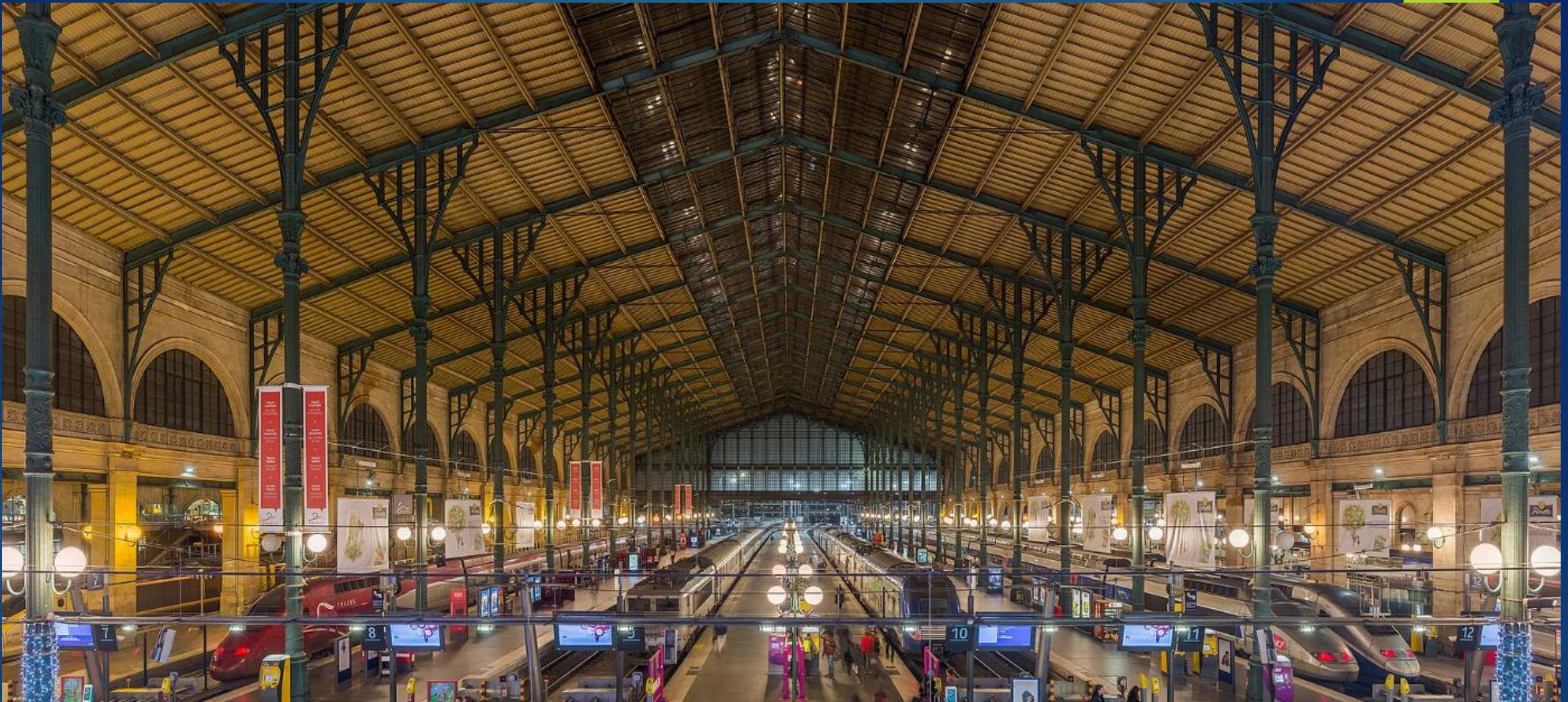
鉄道網

急行

イルドフランス地域

RER B線で、空港から  
パリ北駅へ





パリ 北駅

*Gare du Nord*

北フランス ベルギー、オランダ からの電車の到着駅

フランス パリの北駅

## バリデーションに苦労した 切符の使用開始日時の押印手続き



キップ売り場

予め日本で入手したユーレールパスを使用するに当たり、バスのバリデーション（使用開始日時の押印手続き）をしてもらう必要がある。

バリデーション手続きの場所がわからず、大変苦労した。

切符売り場の駅員に聞いても明快な返事なし（この駅員も知らない）。近くにいた英国人（旅行者）が助けてくれた。「イギリス国旗のマークのある窓口に行けばいい」と教えてくれた。

インターナショナルチケット売り場（イギリス国旗）の窓口でのみ、バリデーションが出来ることをが分かった。無事終了



パリ 北駅 コンコース

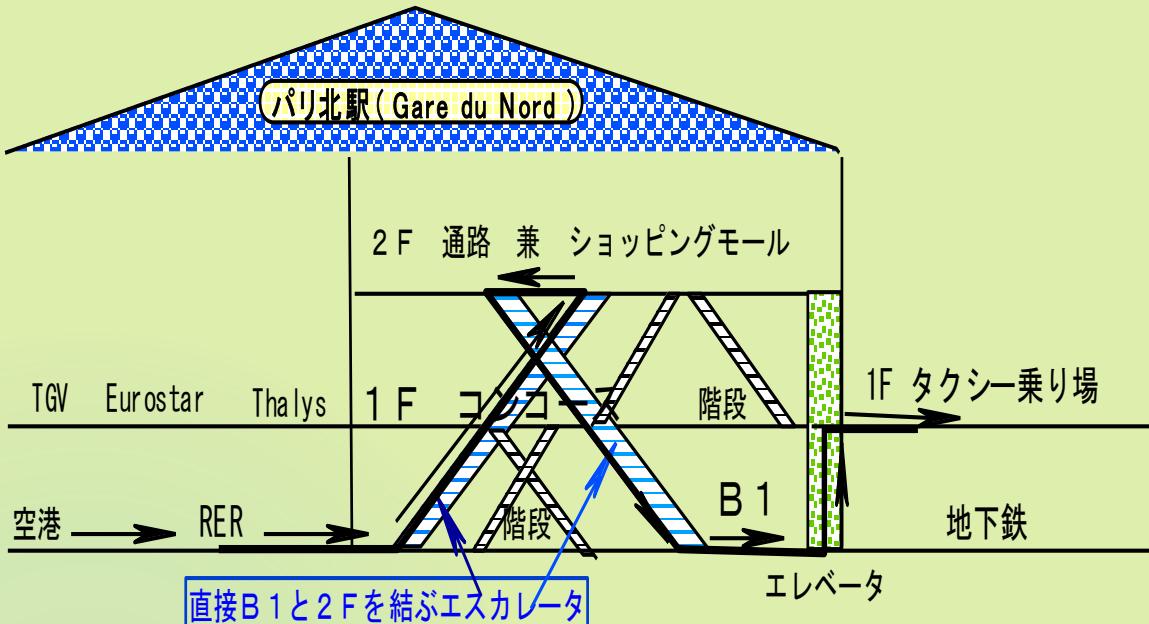


パリ 北駅 コンコース



パリ 北駅

# 苦労したパリ北駅



空港からRER（高速郊外鉄道）でパリ北駅B1に到着。

1Fのタクシー乗り場に行こうとして、エスカレータに乗ったら、いきなり2Fに、間違いに気付き、1Fに降りようとしてエスカレータに乗ったらB1に戻ってしまった。

大きな荷物を持っているので、階段を使うことが出来ない。

1Fのタクシ乗り場の標識が見えているのになかなかたどり着けない。暫くうろうろした結果エレベータを発見。エレベータに乗り何とか1Fのタクシー乗り場にたどり着いた。





パリの北駅 タクシー乗り場  
(モンマルトルまでタクシーで)



モンマルトルのアパートホテル（レストランの上）



アパートホテルはサクレクール寺院の近く



アパートホテルの玄関

アパートホテルには、フロントが有り  
普通のホテルと変わりがない。

但し、早朝と夜間は、フロントは無人  
となる。

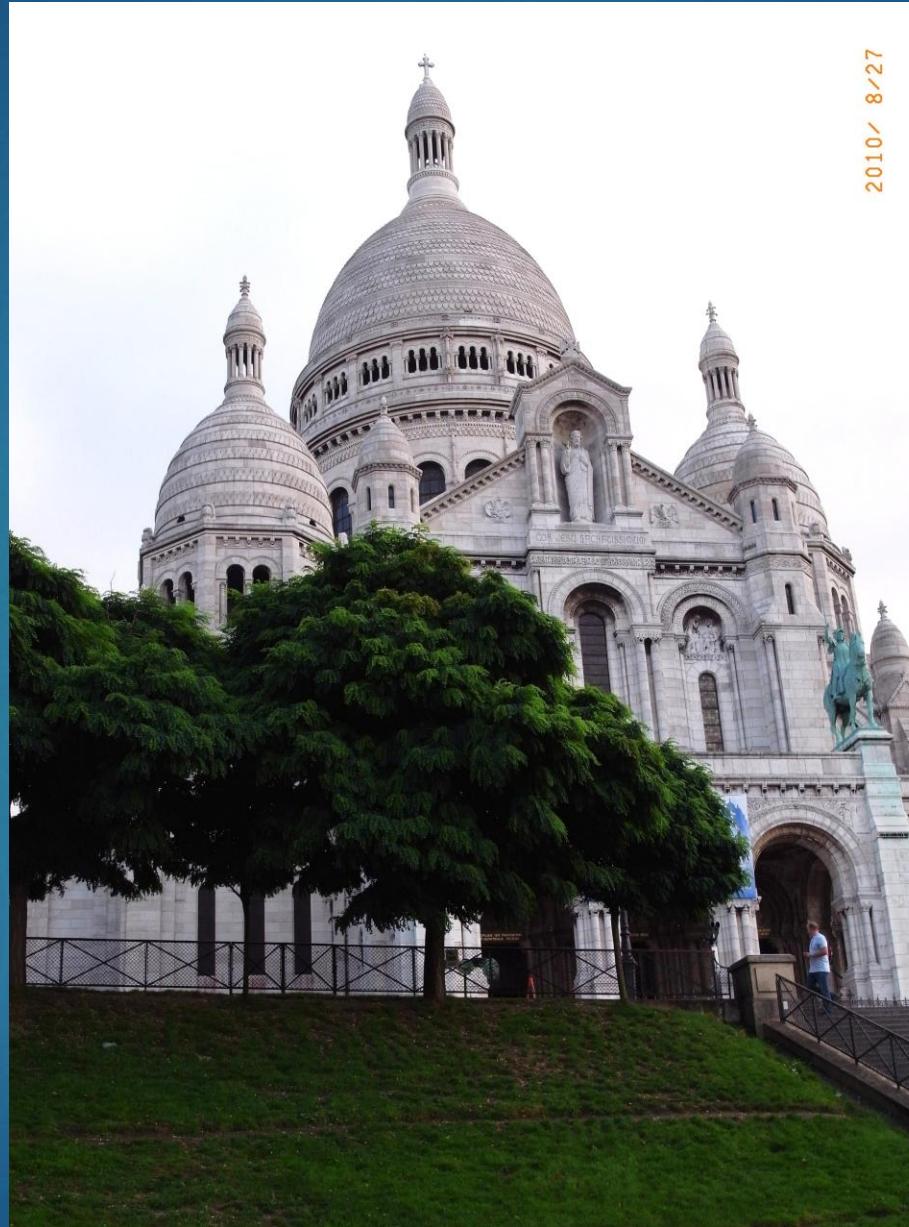
宿泊客は予め知らせられたオートロック  
キーの暗唱番号を入力することにより、  
ホテル内に出入りする。

なお、ルームキーは普通のホテルと  
同じ。

# モンマルトルの丘



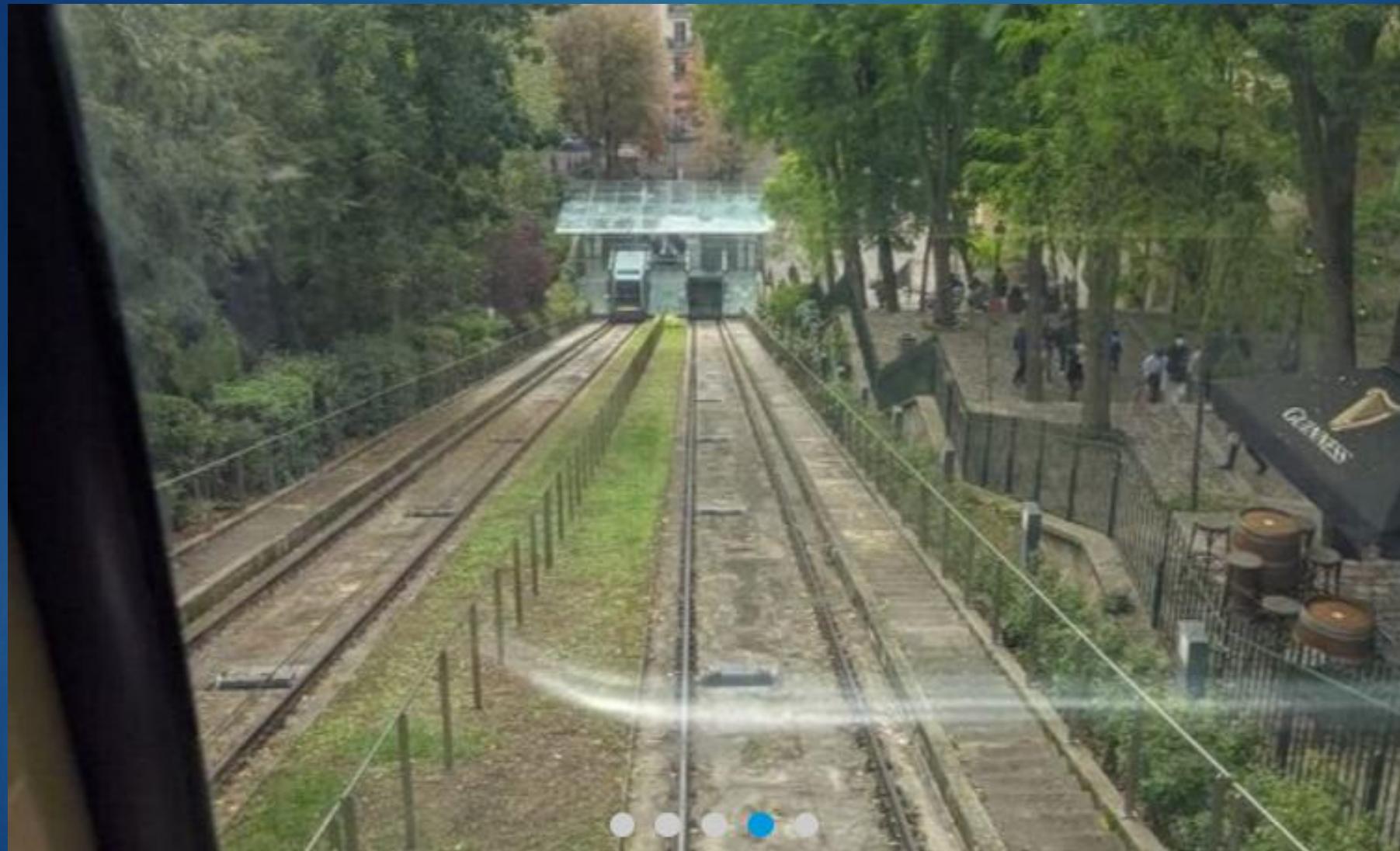
サクレクール寺院



2010/ 8/27



モンマルトルの丘ケーブルカー



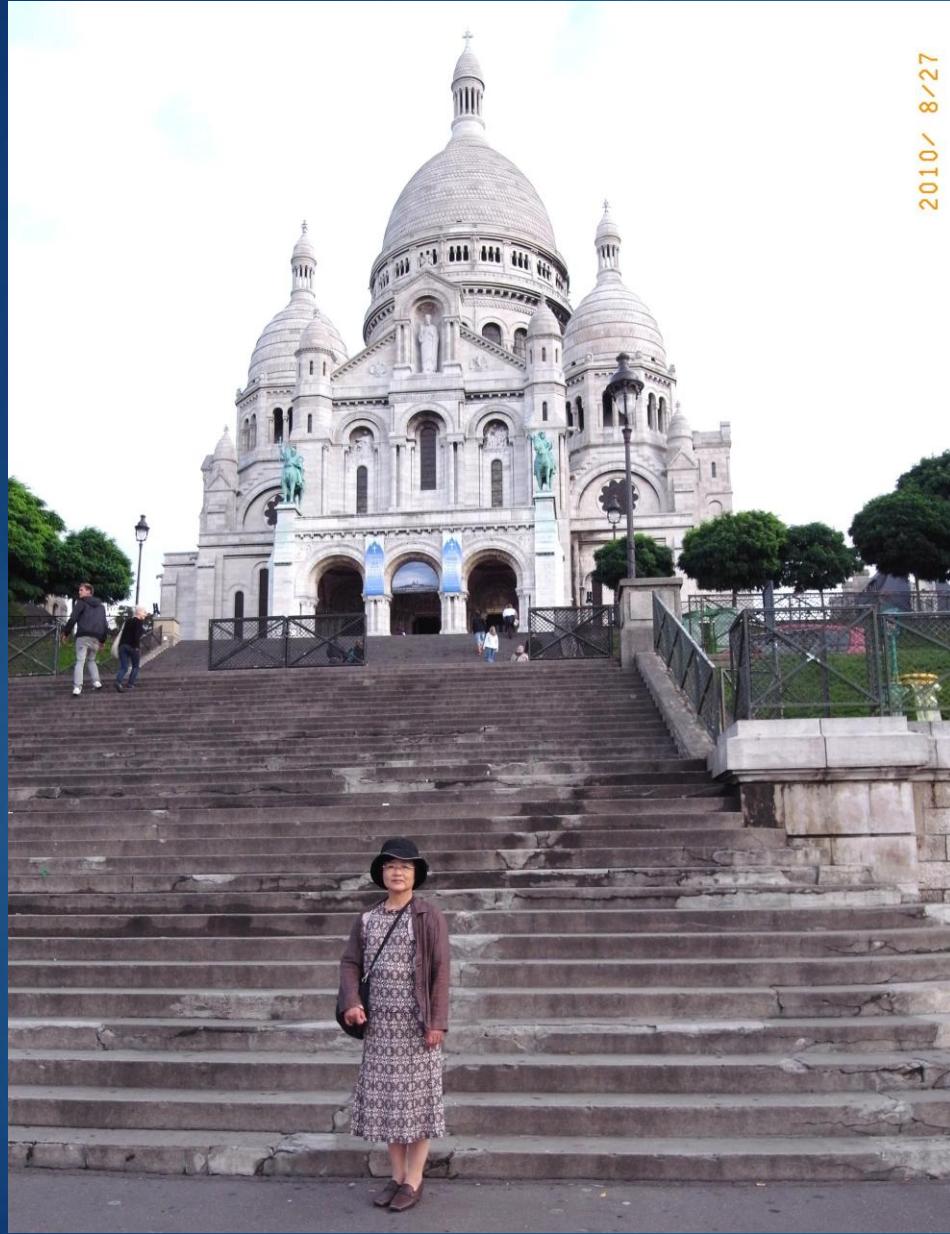


モンマルトルの丘階段でも登れます





モンマルトルの丘からモンパルナスターを臨む

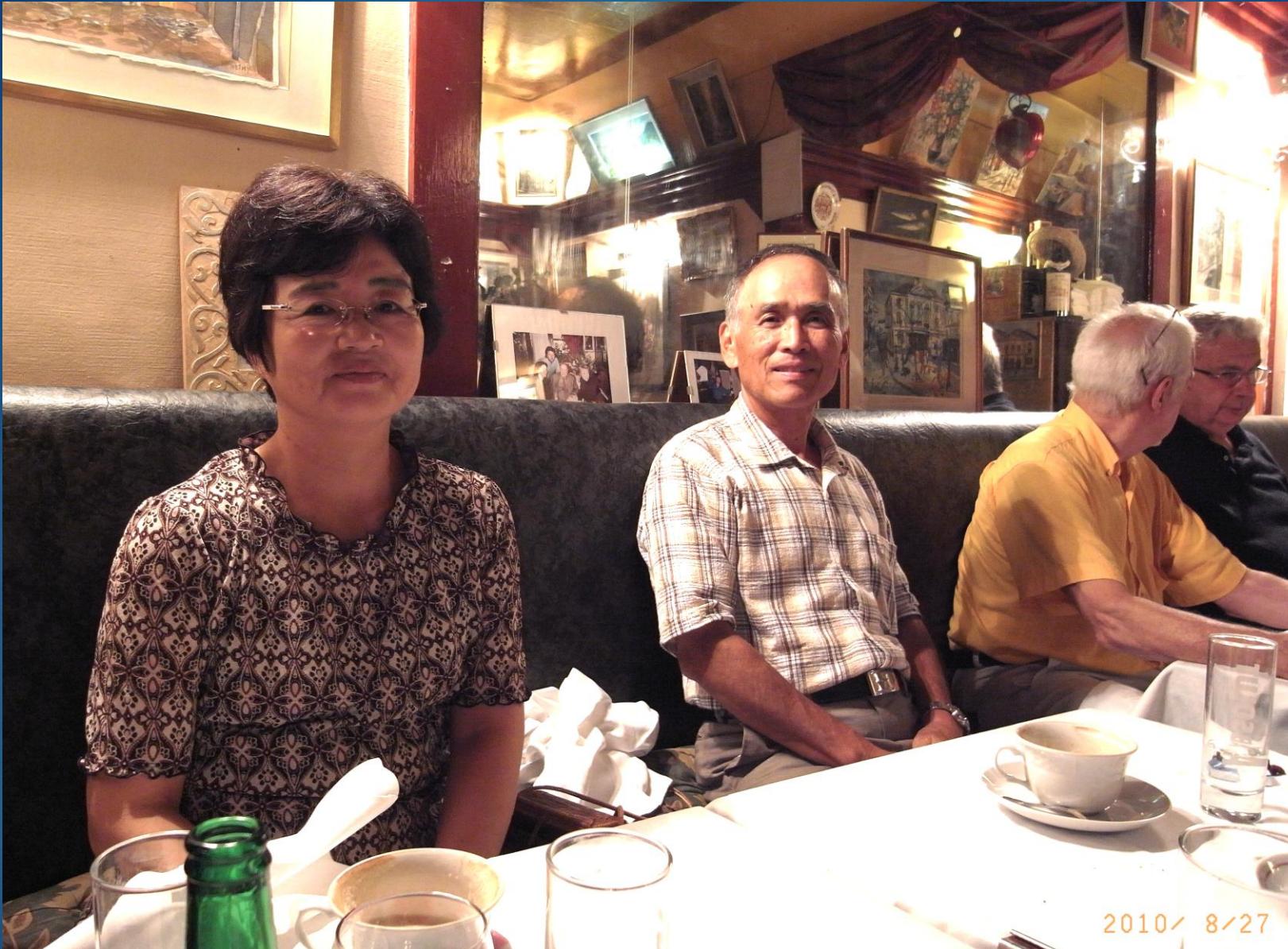


モンマルトルの丘



モンマルトルの丘 サクレクール寺院





モンマルトルのレストラン

# モンマルトル





モンマルトルで  
ビスケットを買って帰った。  
残念ながら半生タイプみたいな  
感じで、全然美味しくなかった。

# ベルサイユ宮殿

ベルサイユ宮殿の最寄り駅は、RER C線の「ヴェルサイユ・シャトー・リヴ・ゴーシュ駅」です。この駅から宮殿までは徒歩約10分。



ゴーシュ駅前



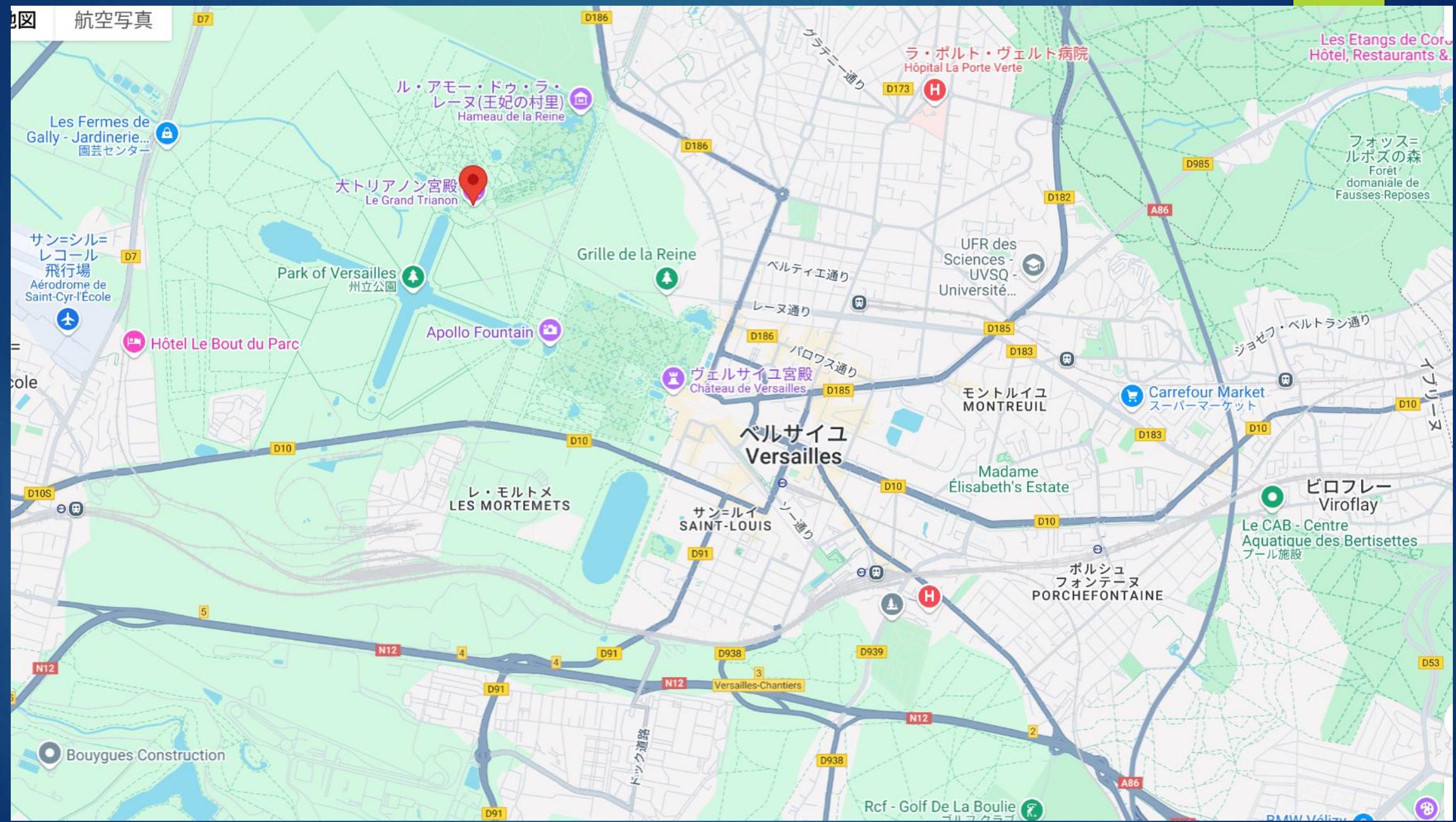
ベルサイユ宮殿へ道順の看板なし

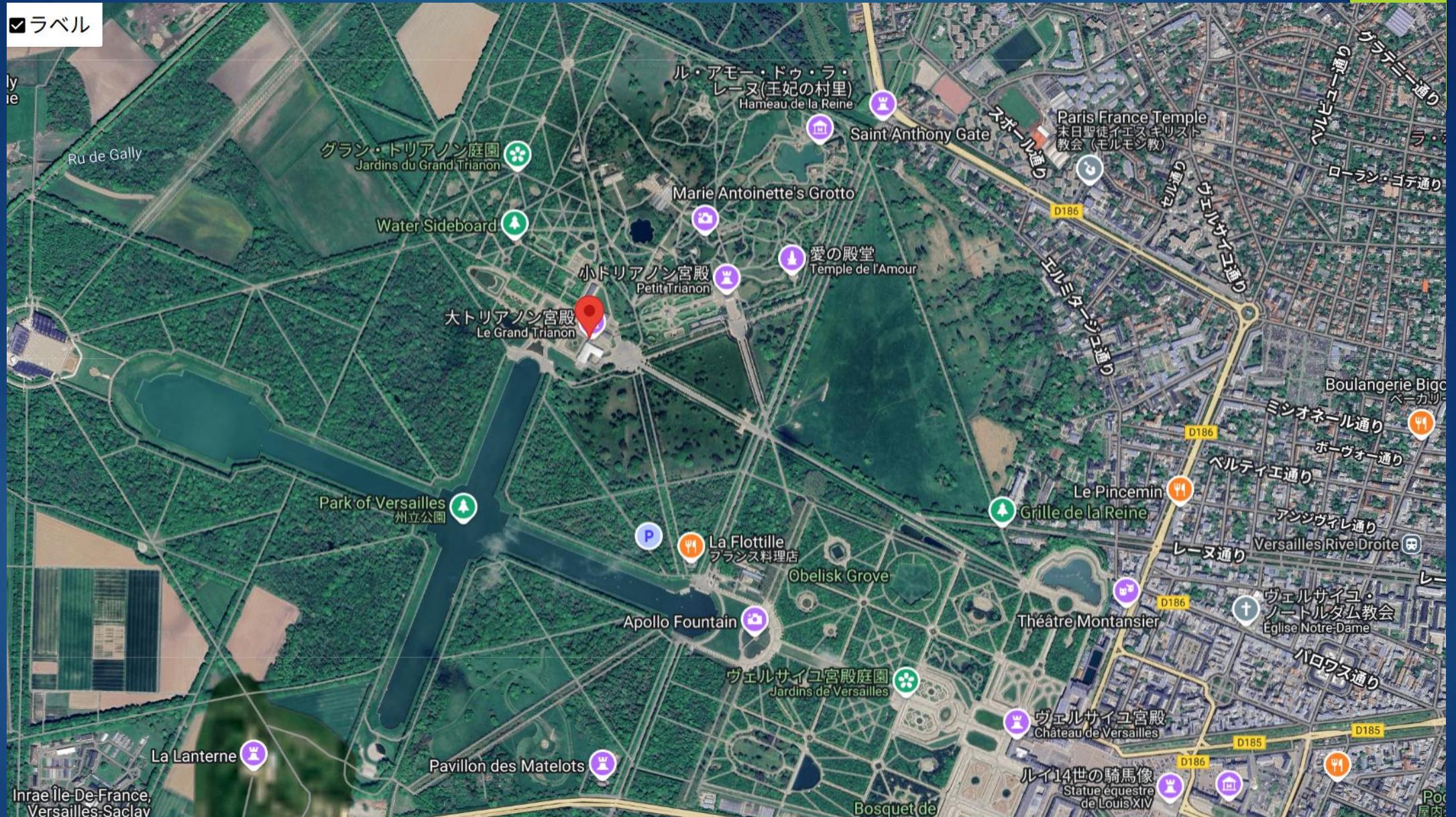
## 地図

## 航空写真



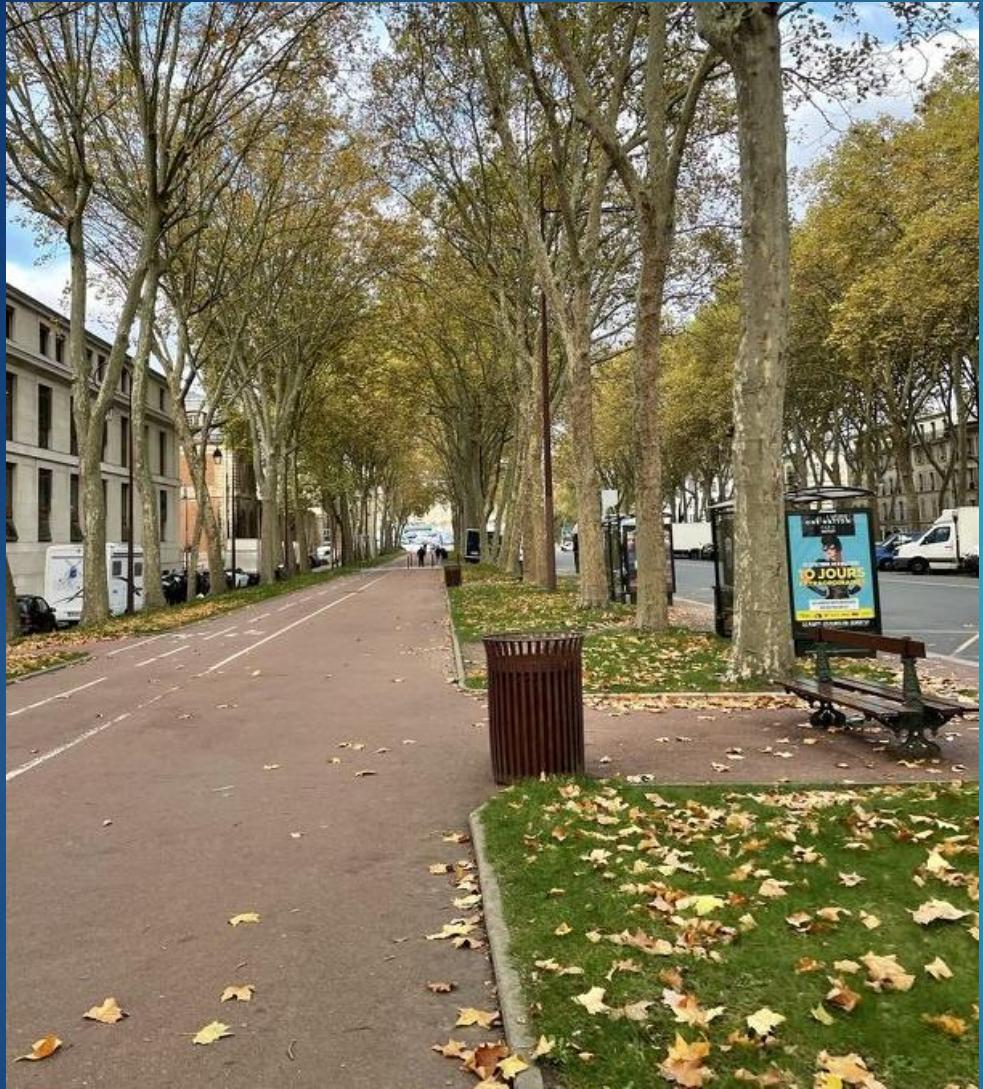
地図 航空写真







観光客らしき人達も見当たらず、どっちに行けばよいのか分からぬ



ヴェルサイユ宮殿に向かう途中



それらしき建物が見えてきた



宮殿入口に到着

観光バスが沢山 バスで訪れる観光客が圧倒的  
多いと思われる







ラトンヌの泉

ラトンヌの泉



ルイ14世騎馬像

宮殿内部の見学は今回省略



ヴェルサイユ宮殿の「鏡の間」



王専用の居室



ヴェルサイユ宮殿の大運河



プチトラン（ヴェルサイユ宮殿）を利用して庭園内を巡回



フチトラン（ヴェルサイユ宮殿）



プチトランに乗って出発

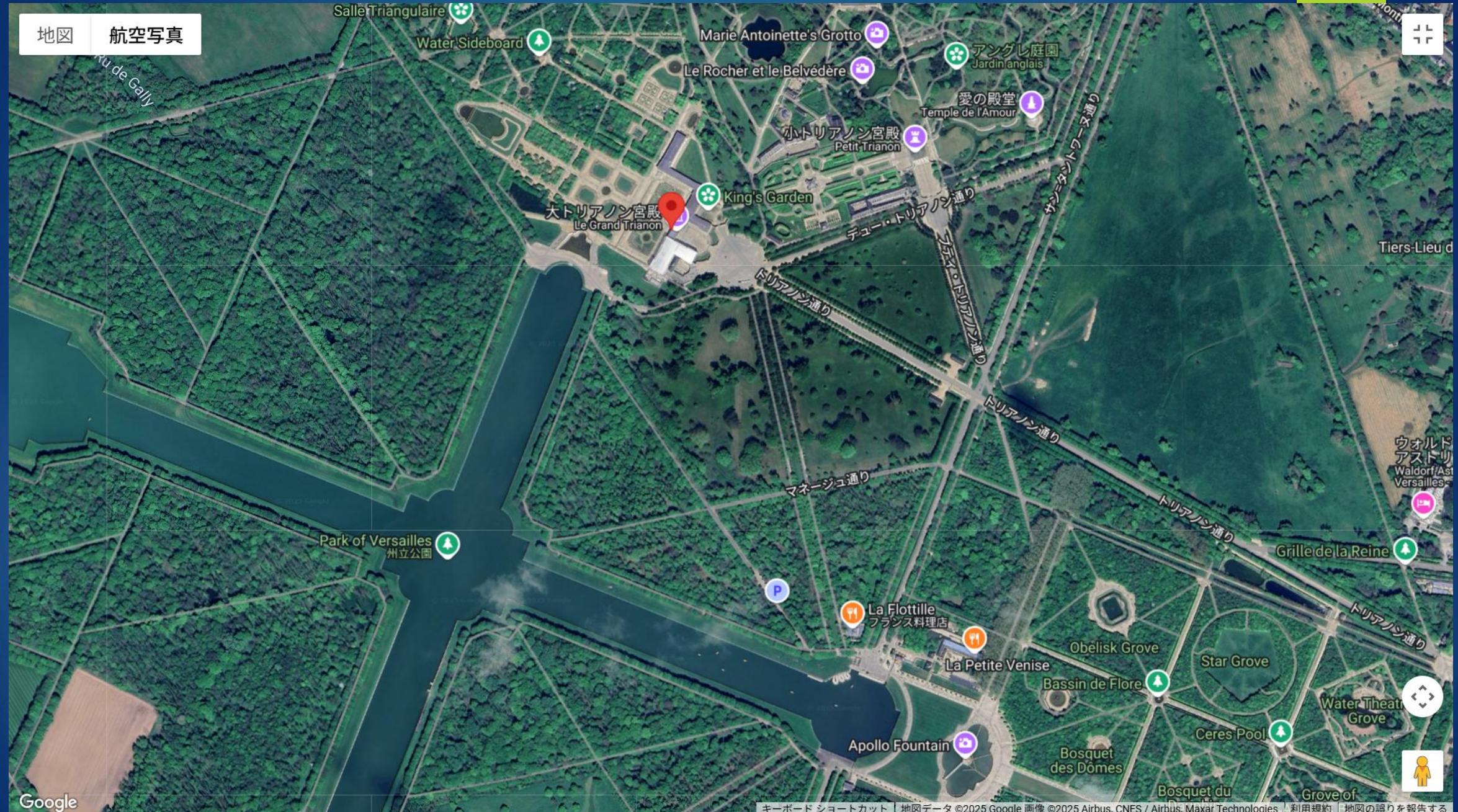
ラトンヌの泉



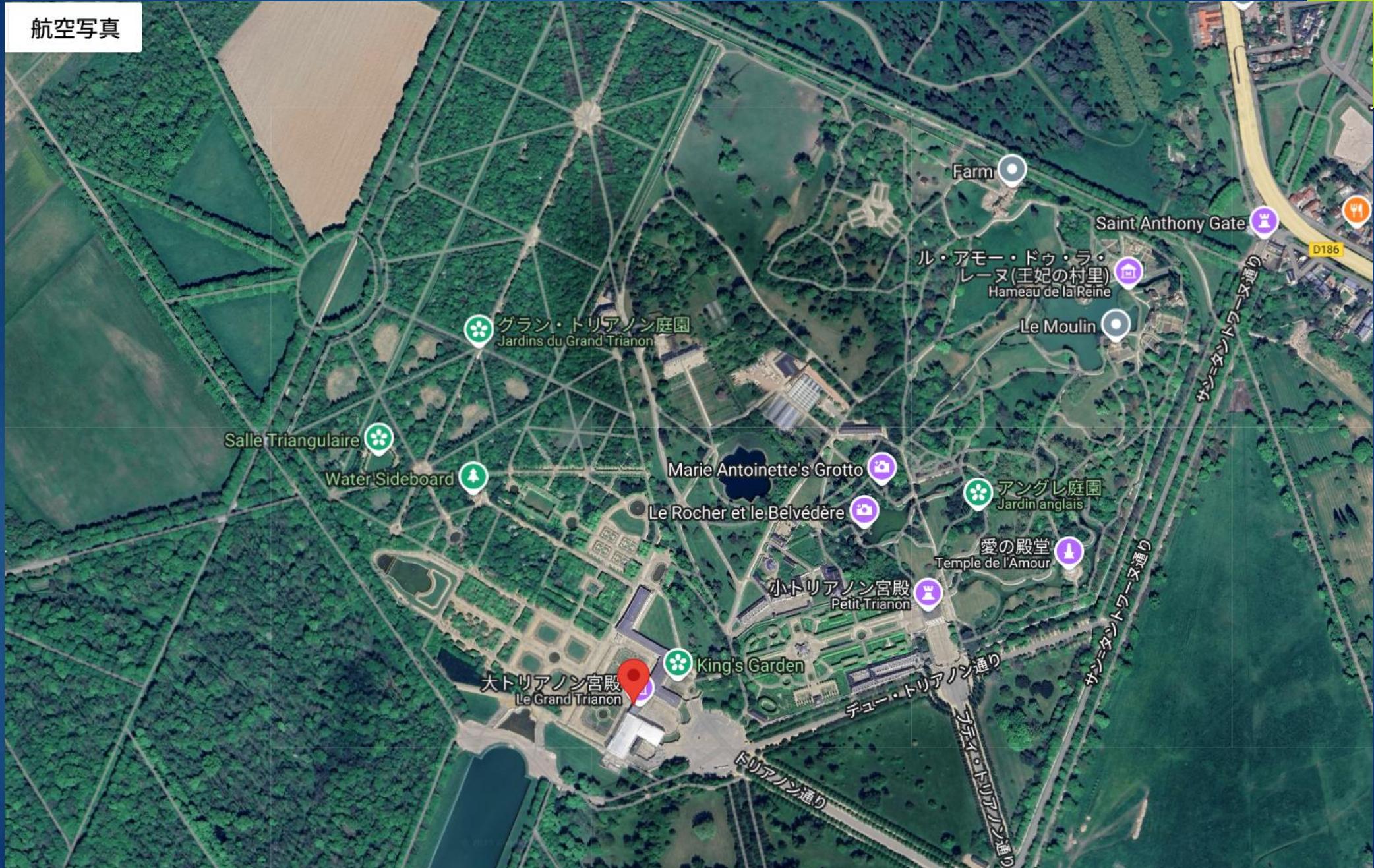
大運河 ラトナ噴水 プチ・トリアノンは運河の右側

## 地図

## 航空写真



## 航空写真





ヴェルサイユ宮殿の裏手にある広大な庭園



ヴェルサイユ宮殿の庭



ラトナの泉水 ラトンヌの泉



アポロンの泉水 右上が宮殿



アポロンの泉水

## サチュルヌの泉水



ヴェルサイユ宮殿の中でもルイ14世が愛してやまなかった庭園は、フランス式の数ある庭園の中でも最高傑作と呼ばれています。



ラトーヌ泉水下から宮殿方面を望む



フランスを代表する庭園



毎年30万本の花が植えられます！

# 大トリアノン宮殿







大トリアノン宮殿



大トリアノン宮殿



大トリアノン宮殿



大トリアノン宮殿





ベンチで一休み



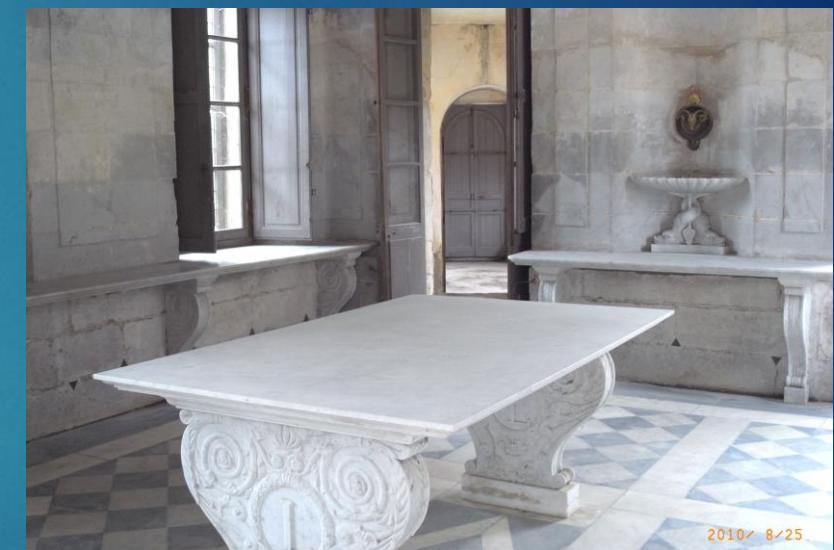
美少女 読書中



## 英國式庭園

プチ・トリアノンは、ヴェルサイユ宮殿の庭園にある離宮の一つ。新古典主義建築であり、建物の形は正方形。内装はロココ様式の最高峰とも評される<sup>[2]</sup>。

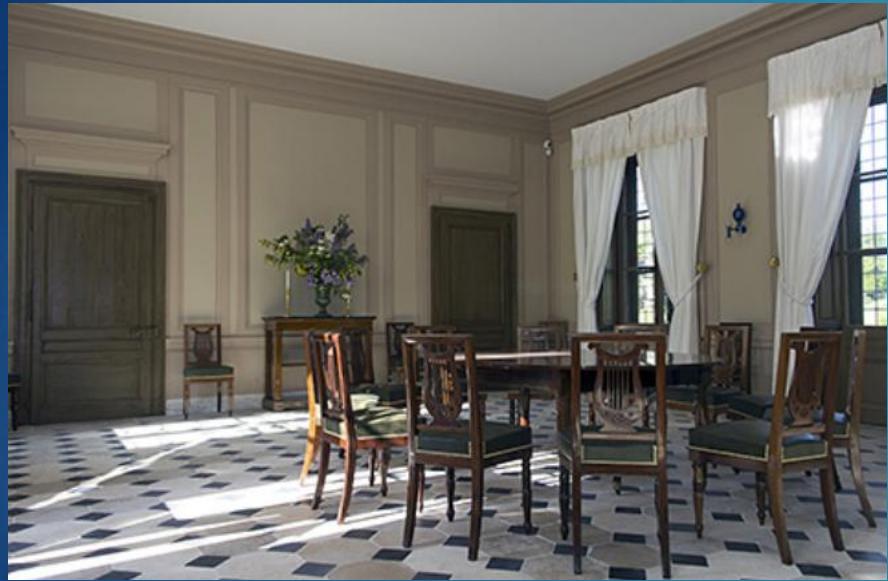
ルイ16世の王妃マリー・アントワネットの私的な宮殿として有名である。



2010/ 8/25

2686/3,148: すべての写真





王妃の館の1階にある食堂



プチ・トリアノンのエントランス



バラを持つ王妃マリー・アントワネット  
女性画家「ヴィジュ・ルブラン」作





メインルーム



## 王妃の村里を見学

王妃の村里は12の家屋からなる農村エリア





2010/ 8/25



愛の神殿



村里内の王妃（マリア・アントワネット）の家





王妃の村里は12の家屋からなる農村エリア



王妃の村里



野菜畠





村里内の小屋



酪農小屋と小回廊で結ばれている「マールボロの塔」









水車小屋



ブドウ畠





Petit・トリアノンの牧場



牧場 出口がどの方向か分からず出るのに苦労した

END